

5つの特徴

胃透視

室を4部屋設置し、誘導支援システムにより自動的に空いている検査室へご案内しますので、待ち時間が短縮されます。

検査前

に看護師がお一人ずつ問診を行い、検査を安心して受けていただけるよう心がけます。本日の体調や下剤の量をお聞きます。授乳中でも下剤を変更することで受診できますので、ご不明な点がございましたらお気軽にお声かけください。

日本消化器がん検診

学会認定の指導医のもと、NPO精管構が実施する「胃がんX線検診部門資格試験」に合格した技師。技量と読影力を兼ね備えた読影補助認定技師など経験豊富な技師が撮影にあたります。

読影

は、日本医学放射線学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器がん検診学会など各種学会の専門医、指導医のもと経験豊富な医師が行い精度の向上に取り組んでいます。

撮影者

が受診者を介助しながら撮影するための装置を設置しています。聴力や視力に障害のある方や、介助が必要な方へ対応いたします。

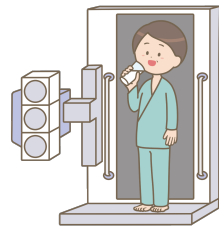
午後

からも検査を実施しています。午後から受けられる方は朝7時までに軽い食事（おかゆ、トーストなど）を済ませ、その後は絶食してください。詳細はご案内用紙に記載しています。

胃透視

Stomach X-Ray

当施設は、指導医のもと技量と読影力を備えた技師を養成し、検査の精度の向上を目指します。
クリニックを併設していますので、精密検査と判定された場合のフォローも行っていきます。



検査について

受診者	00001	テスト1234567	30 歳 男	転送
未	基準2	未	基準1	
錠剤数		造影剤		中止
4錠	8錠	過去		
P4錠	P8錠	濃度		保留
発泡剤量		体重		
2.5g	-	0	+	後日
5.0g	-	1	+	
検査画面		他部門からの申込		
		最高		最低
		他部門からの申込		
		検査画面		問診参照

当日問診や検査値により禁忌事項に該当した場合、自動で検査中止となります。誘導リストから省かれます。

問診情報や他部門からの申し送り、血圧値や体重を確認して撮影することができます。あらかじめ設定した撮影に影響のある既往歴を有する場合、画面にポップアップされます。

問診時に看護師が下剤の種類や量を確認した内容を画面表示させ、必要量をお渡しします。授乳中の方は問診情報から自動で専用の下剤が選択されます。

誘導リストで撮影方法を確認して、受診者様をお呼びすることができます。

